

○伊藤隆男・伊藤 伝*・岩波 徹**

カンキツモザイクウイルス弱毒候補株 97032 の RNA1 の部分的塩基配列解析

Ito, T., Ito, T. and Iwanami, T.: Analyses of the partial nucleotide sequence of RNA1 of a mild Citrus mosaic virus isolate 97032YO.

温州萎縮ウイルスグループウイルス (SDV-RV) には、温州萎縮ウイルス (SDV)、カンキツモザイクウイルス (CiMV)、ネーブル斑葉モザイクウイルス (NIMV)、およびヒュウガナツウイルス (HV: 仮称) が存在する。これらの RNA1 を共通に検出可能なディジェネレートプライマーを開発し RT-PCR を行ったところ、当研究室保存の全ての SDV-RV 分離株から約 1200 塩基の特異的増幅断片が得られた。そこで、すでに RNA2 の部分的塩基配列解析により CiMV の系統と考えている弱毒候補株 97032YO (伊藤ら, 2001) について、得られた増幅断片をクローニングし、その塩基配列を解析した。その結果、94.6%程度 of 同一性を持つ 2 つの塩基配列変異株由来と考えられるクローンが主で、変異の蓄積あるいはゲノム RNA の組み換えによると思われる両者の中間的な塩基配列を持つクローンも少数ながら得られた。SDV-RV 間での塩基配列比較による系統樹解析の結果、主となる 2 つの変異株は、SDV, NIMV, HV と異なり、既知 CiMV 分離株とは若干離れた CiMV の系統と考えられた。

(果樹研カンキツ・*果樹研リンゴ・**九州沖縄農研)

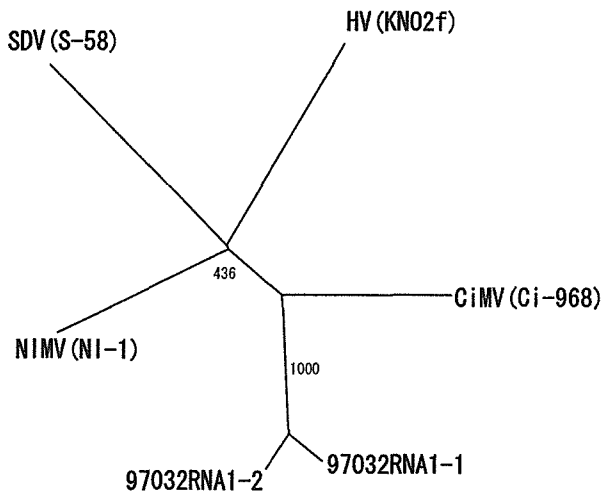


図 RT-PCR で増幅した 97032YO 株の RNA1 の一部 (97032RNA1-1, 2) と他の SDV-RV の塩基配列の系統樹
() 内は分離株名